

## 個人でできることを

### 9/19～9/27はSDGs週間です

エライジーズ  
SDGsとは、持続可能な開発目標のことで、2030年までの達成を目指す17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SDGs週間は、持続可能な社会を目指す国際的な取り組みについて考え、一人ひとりができることを見つける機会です。「水を出しっぱなしにせず、こまめに止める」「冷蔵庫の中を把握して、必要な分だけ買い足す」



など、身近なことから始めてみませんか。  
問合せ 政策推進課へ

## 広がる支援の輪

### 令和8年熊本地震街頭募金活動を実施

8月4日(火)、摂津市社会福祉協議会を中心に、市や市議会、校区等福祉委員会、災害ボランティアネットワークの加盟団体が協力し、JR千里丘駅にて令和8年熊本地震の街頭募金活動が行われました。

当日は、呼びかけに応じて、帰宅途中の多くの人たちが足を止め、ご協力くださいました。皆さまからの大切な募金は、日本赤十字社を通じて被災地へ送られます。



集まった 224,959 円が被災地に

被災地の一日も早い復興を祈るとともに、ご協力くださった多くの皆さまの温かいご支援に、心より感謝します。  
問合せ 同協議会へ

## 水害時の避難場所

### 物流会社（鳥飼西）と緊急避難場所の協定締結

8月5日(水)、市は、(株)MFL（鳥飼西）と「水害時における緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結しました。

同社は、全国10力所に拠点を構える食料品・医療品に特化した物流会社です。過去の被災時の経験から「インフラ物流を止めない」という強い思いがあり、これまでも飲料の寄附など地域貢献に取り組まれています。



同社の信川英樹代表取締役（写真左）と嶋野市長

問合せ 防災危機管理課へ

## 迅速な対応に向けて

### 水害時の生活再建へ損保会社と協定締結

7月27日(月)、市は、水害を受けた市民の早期生活再建のため、三井住友海上火災保険㈱と「損害調査結果の提供および利用に関する協定」を締結しました。

本協定は、住家の被害認定調査や罹災証明書の交付業務に、同社の損害調査結果を活用するものです。これにより、迅速な証明書交付や被災者の負担軽減が期待されます。



同社の石井徹大阪北支店長（写真左）と嶋野市長

問合せ 防災危機管理課へ